

新パトワ語のミニ教科書

新パトワ語は新しい国際言語です。普通の言語よりはるかに単純で簡単です。

新パトワ語は容易に世界中で多くの人々によって話され、相互理解されるように設計されている。例えば、異なった母国語の人々によって発音しにくい音を使用しない。文法は簡単、規則的でありがちであるクリオール言語に基づいている。単語の形態は変容しないおかげで、新パトワ語を学ぶことを容易である。語彙は小さいが、豊かな表現を可能にする。そして単語は英語、中国語、ヒンディー語、スワヒリ語、アラビア語、ロシア語、インドネシア語、および日本語のような自然言語から導入してある。結果として、新パトワ語を学ぶことは、世界中のいろいろな文化からの人々によって使用されている単語を学ぶことでもある。

新パトワ語の発音

まず、母音ですが、日本語と全くかわりません。あ (a)、い (i)、う (u)、え (e)、お (o)。いわゆる半母音の「v」と「w」がありますが、基本的母音と考えても大丈夫です。子音は、それほど日本語と変わりません。まず、日本語と全く同じのは、「p」、「b」、「k」、「g」、「t」、「d」、「s」、「m」と「n」です。c も、日本語の「ち」が「し」という音です。「l」は日本語の「ら」を使えます。「f」は日本語の「ふあ」のような音です。後、「h」のほうが、アラビア語、ロシア語などにある、強い「は」の音。中国語の「h」と似ています。ほかには、「j」、「v」と「z」の字が使えますが、固有名詞など、新パトワ語ではない言葉のみに使えます。

簡単な語彙

代名詞

Mi ミ 私
Yu ユ あなた
Ta タ 彼・彼女

動詞

Kana カナ 食べる
Tene テネ 有る
Dena デナ
Yau ヤウ 要る
Mesti メステイ しなければならない
Suka スカ 好き
Ale アレ いく
Lai ライ くる
Subi スビ もらう・受ける
Gani ガニ 見る
Oci オチ 落ちる
Sema セマ 言う
Kapice カピチェ 分かる
Nata ナタ 泳ぐ

名詞

Kasa カサ 家
Nyama ニヤマ 肉
Pwason ポワソン 魚
Cidya シディヤ 鳥
Ama アマ 雨
Skola スコラ 学校

形容詞

Nila ニラ 青い
Maha マハ 大きい
Wiki ウイキ 早い
Seka セカ 乾いている

助詞、副詞

No ノ ではありません
Na ナ
Po ポ
Ako アコ もし
Lekin タピ けれども
Asi アスイ 多分

簡単な文書

さあ、新パトワ語で文章を作って見ましょう。

簡単な文書

Mi ale kasa. 私は家に行きます。

Mi suka nyama. 私は肉が好きです。

否定形

Mi no suka pwason. 私は魚が好きではありません。

質問

Yu suka no suka nyama? あなたはお肉が好きですか？

もし

Ako ama oci, me no ale skola. 雨が降れば、学校に行きません。

けれど

Ama oci, lekin mi seka. 雨が降りましたが、私は濡れませんでした。

形容詞を使う

Mi gani nila na cidya. 私が青い鳥を見ました。

属格

Mi na cidya, ta nila. 私の鳥は青い。

一できる

Mi sabe nata. 私は泳げる。

一たい

Mi yau ale kasa. 家に行きたい。

一しなければいけない。

Mi mesti ale kasa. 家に行かなければいけない。

前置詞を使う

Mi kana pwason po kasa. 私は家で魚を食べる。